

令和2（2020）年度

山形大学大学院

社会文化システム研究科（修士課程）

学 生 募 集 要 項

令和元（2019）年 6月

山 形 大 学

目 次

○日程について	1
---------	---

○募集について

I 募集人員	1
II 出願資格	1
III 入学資格審査	4
IV 出願手続	5
V 選抜方法, 試験日時及び試験科目	
A 文化システム専攻	9
B 社会システム専攻	12
VI 試験場	15
VII 合格者発表	15
VIII 入学手続	15
IX 授業料	15
X 諸経費	15
XI 入学後の住居について	16
XII 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置について	16
XIII 長期履修学生制度について	16
XIV 試験成績の開示	16
XV その他	16

○授業科目について

I 文化システム専攻	17
II 社会システム専攻	21

○アドミッション・ポリシーについて	25
-------------------	----

○学生募集に関する所定用紙一式

令和2（2020）年度 山形大学大学院社会文化システム研究科学生募集要項
 （一般入試・社会人入試・外国人留学生入試・推薦入試・協定校(外国人留学生)推薦入試）

○日程について

一般入試 社会人入試 外国人留学生入試	第1回選抜試験	願書受付	令和元(2019)年8月9日(金)～ 令和元(2019)年8月20日(火) (8月10日～8月18日を除く。)
		試験日	令和元(2019)年9月6日(金)
		合格者発表	令和元(2019)年9月13日(金)
	第2回選抜試験	願書受付	令和2(2020)年1月7日(火)～ 令和2(2020)年1月9日(木)
		試験日	令和2(2020)年2月8日(土)
		合格者発表	令和2(2020)年2月14日(金)
推薦入試	第1回推薦入試	願書受付	令和元(2019)年8月9日(金)～ 令和元(2019)年8月20日(火) (8月10日～8月18日を除く。)
		試験日	令和元(2019)年9月5日(木)
		合格者発表	令和元(2019)年9月13日(金)
	第2回推薦入試	願書受付	令和2(2020)年1月7日(火)～ 令和2(2020)年1月9日(木)
		試験日	令和2(2020)年2月8日(土)
		合格者発表	令和2(2020)年2月14日(金)
協定校(外国人 留学生)推薦入試	第1回	願書受付	令和元(2019)年8月1日(木)～ 令和元(2019)年8月30日(金) (土・日曜日を除く。)
		試験日	※提出された書類による審査のみで選考を行う 「渡日前入試」となる為、試験日は設けない。
		合格者発表	令和元(2019)年9月13日(金)
	第2回	願書受付	令和元(2019)年12月2日(月)～ 令和元(2019)年12月20日(金) (土・日曜日を除く。)
		試験日	※提出された書類による審査のみで選考を行う 「渡日前入試」となる為、試験日は設けない。
		合格者発表	令和2(2020)年2月14日(金)

○募集について

※ナスカ試験場の文化システム専攻第1回社会人入試は
9月5日(木)8時【日本時間】実施。

I 募集人員

文化システム専攻 6人

社会システム専攻 6人

(両専攻とも一般入試・社会人入試・外国人留学生入試・推薦入試・協定校(外国人留学生)推薦入試
のすべてを含む。)

II 出願資格 (以下※印のある番号については、4頁の「III 入学資格審査」の項を参照のこと。)

1 一般入試

次の各号のいずれかに該当する者又は令和2(2020)年3月31日までに該当する見込みの者

- (1) 学校教育法第83条第1項に定める大学（以下「大学」という。）を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ※(9) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ※(10) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ※(11) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- ※(12) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

2 社会人入試

次の各号のいずれかに該当する者又は令和2(2020)年3月31日までに該当する見込みの者で、出願資格

- (1)から(7)の場合は①から③、出願資格(8)の場合は、④又は⑤のいずれかの要件を満たすもの
- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者
- (7) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- ※(8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

(1)～(7)の出願資格に該当する者の要件

- ① 出願時において、大学在学中を含む3年以上継続して職業経験を有する者
- ② 出願時において、卒業後1年以上継続して職業経験を有する有職者
- ③ 出願時において、卒業後3年以上経過している者

(8)の出願資格に該当する者の要件

- ④ 出願時において、卒業又は修了後3年以上継続して職業経験を有する有職者
- ⑤ 出願時において、卒業又は修了後5年以上経過している者

(注) 要件①, ②, ④における職業経験には、アルバイト等の定職とみなされないものは含まれない。

3 外国人留学生入試

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当する者又は令和2(2020)年3月31日までに該当する見込みの者

- (1) 外国人留学生として、大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (6) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価をうけたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって文部科学大臣の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- (7) 外国人留学生として、専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者

※(8) 外国において学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認めた者

※(9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの

4 推薦入試

次の各号すべてに該当する者

- (1) 大学の4年次に在籍する者で、令和2(2020)年3月31日までに卒業見込みの者
- (2) 学業成績が優秀で大学院における勉学や研究に意欲があり、合格した場合には、入学することを確約できる者
- (3) 平成31年3月31日までに、現在在学する大学の卒業に必要とされる単位数の80%以上を修得している者
- (4) 修得単位のうち、得点評価を受けた単位の60%以上が、100点満点で80点以上の評価を受けた者
- (5) 在学する大学の現在の指導教員1名による推薦書を提出できる者
- (6) 社会文化システム研究科へ入学した場合に指導が予定される本学教員とあらかじめ研究計画について面談した者

5 協定校(外国人留学生)推薦入試

日本国籍を有しない者で、出願の際に日本に居住していない者のうち、次の各号すべてに該当する者

- (1) 山形大学又は山形大学人文社会科学部（人文学部）と交流協定を結んでいる大学を平成30(2018)年4月1日から令和2(2020)年3月31日までに卒業又は卒業見込みの者（ただし、学校教育における15年の課程を修了した者については資格審査を行う。）
 - (2) 学業成績が優秀で大学院における勉学や研究に意欲があり、合格した場合には、入学することを確約できる者
 - (3) 在学大学又は卒業した大学の交流責任教員による推薦書を提出できる者
 - (4) 本研究科教員の受入れ承諾書（様式任意）を提出できる者
 - (5) 日本語能力試験においてN1レベルと認定された者
- ※山形大学又は山形大学人文社会科学部（人文学部）と交流協定を結んでいる大学は、本学ホームページ(<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/>)「国際交流・留学」の「国際交流－学術交流協定－」を確認すること。

Ⅲ 入学資格審査

1 出願資格について

Ⅱ出願資格の1の(9)(10)(11)(12), 2の(8), 3の(8)(9)により入学を志願しようとする者とは、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程（前項Ⅱ出願資格1の(7), 2の(6), 3の(7)を除く。）、各種学校その他の教育施設の卒業生又は修了者など、大学卒業資格を有しない者を指す。

2 入学資格審査の手続きについて

前項により入学を志願しようとする者については、事前に個別の入学資格審査を受け、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた場合、本研究科に出願することができる。

なお、資格審査の出願書類については、出願の前に、あらかじめ入試課人文社会科学部担当 ☎(023)628-4207)に問合せること。

(1) 出願書類

- ① 入学資格審査願（本要項所定用紙）
- ② 最終学校卒業証明書及び成績証明書
- ③ 入学資格認定審査調書（本要項所定用紙）
- ④ 研究・業績調書（本要項所定用紙）
- ⑤ 学習等の成果が確認できる書類（論文・研究業績・日本語能力試験認定書・研究生の期間がある場合は本要項所定の指導教員の所見）
- ⑥ 返信用封筒（審査結果通知用。本人の宛先を記載した長形3号に「定形郵便物(25gまで)」に相当する切手をはること。）

(2) 入学資格審査提出期間

試験区分	提出期間
第1回選抜試験	令和元(2019)年7月8日(月)～7月10日(水)
第2回選抜試験	令和元(2019)年11月6日(水)～11月8日(金)

受付時間は9時から16時30分まで（郵送の場合も提出期間内に必着のこと。）

(3) 入学資格審査結果の通知期日

試験区分	通知期日
第1回選抜試験	令和元(2019)年7月19日(金)
第2回選抜試験	令和元(2019)年11月18日(月)

(4) 入学資格審査の提出先

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4番12号

山形大学小白川キャンパス事務部入試課人文社会科学部担当 ☎(023)628-4207

- ・持参又は角形2号（A4判用）封筒に「入学資格審査書類在中」と朱書きして郵送すること。
- ・入学資格審査手続の詳細については、入試課人文社会科学部担当まで問合せること。

IV 出願手続

1 出願期間及び方法

試験区分	出願期間
第1回選抜試験	令和元(2019)年8月9日(金)～8月20日(火) (8月10日～8月18日を除く。)
第1回推薦入試	
第1回協定校(外国人留学生)推薦入試	令和元(2019)年8月1日(木)～8月30日(金) (土・日曜日を除く。)
第2回選抜試験	令和2(2020)年1月7日(火)～1月9日(木)
第2回推薦入試	
第2回協定校(外国人留学生)推薦入試	令和元(2019)年12月2日(月)～12月20日(金) (土・日曜日を除く。)

受付時間は、9時から16時30分まで。(郵送の場合も出願期間内に必着のこと。)

所定の期日までに持参又は郵送すること。郵送する場合は、書留速達とし、角形2号(A4判用)封筒に「令和2年度(2020)大学院社会文化システム研究科出願書類在中」と朱書きすること。

2 出願書類の提出先

〒990-8560 山形市小白川町一丁目4番12号

山形大学小白川キャンパス事務部入試課人文社会科学部担当 ☎ (023) 628-4207

3 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談

試験区分によっては、英語あるいはスペイン語での出願により受験が認められる場合があるので、第1回は6月末日、第2回は10月末日までに入試課人文社会科学部担当に相談すること。

病気、負傷や障害等のために、受験上及び修学上の配慮を希望する者は、第1回は7月26日(金)、第2回は12月17日(火)までに入試課人文社会科学部担当に相談すること。

区分	対象となる者
①視覚障害	<ul style="list-style-type: none"> 点字による教育を受けている者 良い方の眼の矯正視力が0.15以下の者 両眼による視野について強度視野障害のある者 上記以外の視覚に関する配慮を必要とする者
②聴覚障害	<ul style="list-style-type: none"> 両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 上記以外の聴覚に関する配慮を必要とする者
③肢体不自由	<ul style="list-style-type: none"> 体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 両上肢の機能障害が著しい者 上記以外の肢体不自由に関する配慮を必要とする者
④病弱	<ul style="list-style-type: none"> 慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤発達障害	<ul style="list-style-type: none"> 自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害のため配慮を必要とする者
⑥その他	<ul style="list-style-type: none"> ①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

4 出願に必要な書類等

書類等	摘要	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試	推薦入試	協定校(外国人留学生)推薦入試
入学願書・履歴書 受験票・写真票	本要項所定の用紙に必要事項を記入し、写真は、出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きのもの(縦4cm×横3cm)をはること。	○	○	○	○	○
検定料を振り込んだことが分かる書類の写し(注1)	<p>1 検定料 30,000円</p> <p>2 払込期間 第1回選抜試験 令和元年8月2日から8月20日 第1回推薦入試 令和元年8月2日から8月20日 第1回協定校(外国人留学生)推薦入試 令和元年7月19日から8月30日 第2回選抜試験 令和2年1月6日から1月9日 第2回推薦入試 令和2年1月6日から1月9日 第2回協定校(外国人留学生)推薦入試 令和元年11月25日から12月20日</p> <p>3 払込方法 (1) 以下の振込先に金融機関窓口又はATMから振り込むこと。 金融機関窓口からは「電信扱」で振り込むこと。 (2) 振込の際、ご依頼人名・振込人名等には、必ず数字の「211」と記入した後に出願者本人の氏名を記入すること(この数字で振込人の志願専攻等を識別する。) (3) 振込手数料は各自で負担すること。</p> <p>4 振込先 【金融機関名】山形銀行 【支店名】本店営業部 【預金種別】普通口座 【口座番号】59358 【口座名義(カナ名義)】ヤマガタダイガク 【口座名義】国立大学法人山形大学 学長 小山清人</p> <p>5 提出書類 振込内容が分かる振込控え(「ご利用明細」など)の写しを提出すること。 振込控えに預金残高など出願に関係のない個人情報が入字されている場合は、「振込日時」「振込先」「振込人氏名」「振込金額」以外は塗りつぶしても構いません。 振込控えに「振込予約日」が記載されている場合は、「振込予約日」を塗りつぶさないこと。 モバイルバンキングなど、振込控えが出ない方法では振り込まないこと。</p> <p>6 返還手続 既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。 (1) 検定料を払い込んだが出願しなかった場合(出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含む。)なお、申出期限は令和2年3月31日(火)までとする。 (2) 誤って検定料を二重に払い込んだ場合 (3) 出願後に国費外国人留学生奨学金の延長が決定し、本学に入学する場合 ※ 返還請求についての問合せ先 入試課人文社会科学部担当</p>	○	○	○	○	○

書類等	摘要	一般入試	社会人入試	外国人留学生入試	推薦入試	協定校(外国人留学生)推薦入試
成績証明書(注2) (注3)	最終出身校の学長(学部長)又は学校長が作成し、厳封したもの。	○	○	○	○	○
卒業・修了(見込)証明書(注2)	最終出身校の学長(学部長)又は学校長が作成したもの。	○	○	○	○	○
研究計画書(注4)	ワープロ又は手書きにより日本語で作成し、表紙には本要項所定の用紙を用いること。	○	○	○	○	○
志望理由書	本要項所定の用紙にワープロ又は手書きにより日本語で作成すること。				○	○
推薦書	本要項所定の用紙にワープロ又は手書きにより指導教員が作成し、厳封したもの。ただし、協定校(外国人留学生)推薦入試においては、在学大学又は卒業した大学の交流責任教員が日本語で作成したもの。				○	○
日本語能力認定書(N1)	独立行政法人国際交流基金及び公益財団法人日本国際教育支援協会が発行したもの(コピー可)。					○
受験票等送付用封筒(注7)	市販の封筒(長形3号)に志願者の住所・氏名及び郵便番号を明記の上、「定形郵便物(25gまで)」に相当する切手をはる。	○	○	○	○	
ラベル票	本要項所定の用紙を用いること。	○	○	○	○	○
学位授与(申請)証明書	大学評価・学位授与機構が発行したもの。取得見込みの者は、「大学評価・学位授与機構に学位授与の申請(予定)をしている。」旨明記した証明書(様式任意)で、出身校長が作成したものを提出する。	該当者 ○	該当者 ○	該当者 ○		
受験承諾書	大学院に在学している者は、本要項所定の用紙を用い、所属研究科長が作成したもの。	該当者 ○	該当者 ○	該当者 ○		
	官公庁・会社等に在職したまま入学しようとする者は、本要項所定の用紙を用い、所属長が作成したもの。		該当者 ○			
在職期間証明書	在職期間を証明するもの又はこれに代わるもの(様式任意)。		該当者 ○			
受入承諾書	本研究科の教員が作成したもの(様式任意)。					○
卒業論文・卒業研究報告書等(注5)	卒業論文・卒業研究報告書等の研究業績を有する者は、その卒業論文・卒業研究報告書等(写しでもよい。)を提出すること(面接の際に返却する)。	該当者 ○	該当者 ○	該当者 ○		
研究業績等(注6)	大学卒業後又は短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校その他の教育施設を卒業・修了後に作成したものに限る。	該当者 ○	該当者 ○	該当者 ○		
住民票の写し	日本国籍を有していない者は、市区町村発行のもので、出願前1か月以内に交付されたものを提出すること。ただし、協定校(外国人留学生)推薦入試に出願又は受験のために滞在し、住民登録をしていない者は、パスポートの写し又はこれに代わるものを提出すること。	該当者 ○	該当者 ○	○	該当者 ○	○

- 注1 外国から送金する場合は、あらかじめ入試課人文社会科学部担当（☎(023)628-4207）に連絡をすること。また、本学出願時に入学後の国費外国人留学生奨学金の受給が決定されている者については、検定料は不要である。
- 注2 外国において、学校教育における課程を修了（見込）した者（Ⅱ出願資格1(3)又は(6)(9), 2(3)又は(5), 3(3)又は(6)又は(8), 5に該当する者）については、最終学校の学業成績証明書及び卒業証明書を原本で提出すること。なお、やむを得ず写しを提出する場合は、最寄りの大使館、領事館等で原本証明を受けること。また、研究生等の出願により、山形大学に原本を既に提出している場合は、出願の前に、あらかじめ入試課人文社会科学部担当（☎(023)628-4207）に問合せること。
日本語訳も併せて提出すること。
- 注3 推薦入試に出願する場合、成績証明書のほか、卒業に必要な単位数が明記された学生便覧等の写しを併せて提出すること。
なお、成績の評価が点数表記ではなく記号等で表記された成績証明書の場合は、換算表等の写しを添付すること。
- 注4 修士学位論文として、その成果をまとめようと考えている具体的な研究計画を提出すること。研究テーマ、目的、方法、現在までの準備状況と予期される成果等を記した2,000字程度のもの。ただし、社会人入試及び外国人留学生入試B方式により受験する者は4,000字程度のもの（日本語によるもの）。事前相談により、英語あるいはスペイン語での出願が認められた場合は1,000語程度とする。また、入学後に指導を希望する教員の氏名を必ず記載すること（1～2名）。教員が担当する科目の内容については、17頁の「令和2年度授業担当予定者授業科目一覧」及び大学院社会文化システム研究科ホームページ（<https://www-hs.yamagata-u.ac.jp/>）に掲載の「シラバス」を参照すること。
- 注5 卒業論文・卒業研究報告書等には、1,000字程度の要旨を添付すること（日本語によるもの）。その他、研究業績があれば提出してもよい。事前相談により、英語あるいはスペイン語での出願が認められた場合は250語程度とする。
- 注6 研究業績等とは、論文のほか研究調査報告等を含む。個々の業績には1,000字程度の要旨を添付すること（日本語によるもの）。事前相談により、英語あるいはスペイン語での出願が認められた場合は250語程度とする。
- 注7 郵便料金が改定となった場合、封筒にはり付ける切手の料金については、山形大学ホームページ「入試案内」及び「受験生の方」で周知する。

5 出願及び入学資格審査に当たっての留意事項

- (1) 入学願書等の出願書類は、大学院社会文化システム研究科ホームページ（<https://www-hs.yamagata-u.ac.jp/>）からダウンロードし、A4判白紙に片面で印刷の上、記入すること。
- (2) 出願書類に不備のある場合は受理しない。
- (3) 出願手続後の提出書類の変更は認めない。
- (4) 出願を希望する方は、志望する専門領域の教員に今後の研究・教育の進め方・内容について、事前に電子メール等で相談すること。連絡先は下記ホームページの教員紹介を参照すること。
（<https://www-hs.yamagata-u.ac.jp/>）
- (5) 出願書類中の卒業論文、研究業績等は返却するが、その他は返却しない。
- (6) 出願後に連絡先の変更があった場合は、直ちに届け出ること。

V 選抜方法、試験日時及び試験科目

A 文化システム専攻

1 選抜方法及び試験日時

(1) 一般入試

■試験科目：専門科目（1科目）、面接（詳細は「2 試験科目」を参照。）

■試験日時

第1回選抜試験		第2回選抜試験	
令和元（2019）年9月6日（金）		令和2（2020）年2月8日（土）	
専門科目	10時00分～12時00分	専門科目	10時00分～12時00分
面接	13時30分～	面接	13時30分～

■配点：専門科目（100点）、面接（200点）、合計300点

■合否判定基準：筆記試験（専門科目）、面接、出願書類を総合して判定する。

(2) 社会人入試

■試験科目：口述試験（詳細は「2 試験科目」を参照。）

■試験日時

第1回選抜試験		第2回選抜試験	
令和元（2019）年9月6日（金）		令和2（2020）年2月8日（土）	
口述試験	13時30分～	口述試験	13時30分～

■配点：口述試験（300点）、合計300点

■合否判定基準：口述試験、出願書類を総合して判定する。

(3) 外国人留学生入試

（A方式）：Ⅱ出願資格の3の(1), (7), (9)に該当する者（3頁参照）

■試験科目：専門科目（1科目）、面接（詳細は「2 試験科目」を参照。）

■試験日時

第1回選抜試験		第2回選抜試験	
令和元（2019）年9月6日（金）		令和2（2020）年2月8日（土）	
専門科目	10時00分～12時00分	専門科目	10時00分～12時00分
面接	13時30分～	面接	13時30分～

■配点：専門科目（100点）、面接（200点）、合計300点

■合否判定基準：筆記試験（専門科目）、面接、出願書類を総合して判定する。

（B方式）：Ⅱ出願資格の3の(2), (3), (4), (5), (6), (8)に該当する者（3頁参照）

■試験科目：日本語（筆記試験）、口述試験（詳細は「2 試験科目」を参照。）

■試験日時

第1回選抜試験		第2回選抜試験	
令和元（2019）年9月6日（金）		令和2（2020）年2月8日（土）	
日本語	11時00分～12時00分	日本語	11時00分～12時00分
口述試験	13時30分～	口述試験	13時30分～

■配点：日本語（50点）、口述試験（250点）、合計300点

■合否判定基準：筆記試験（日本語）、口述試験、出願書類を総合して判定する。

(4) 推薦入試

■試験：面接

■試験日時

第1回推薦入試		第2回推薦入試	
令和元(2019)年9月5日(木)		令和2(2020)年2月8日(土)	
面接	9時00分～	面接	9時00分～

■配点：面接(300点)、合計300点

■合否判定基準：面接、志望理由書、研究計画書、推薦書等の出願書類を総合して判定する。

(5) 協定校(外国人留学生)推薦入試

■選抜方法：入学者の選抜は、提出された書類により行う。(渡日前入試)

■配点：日本語能力試験(150点)、書類審査(研究計画書、その他)(150点)、合計300点

■合否判定基準：日本語能力認定書(N1)、志望理由書、研究計画書、推薦書等の出願書類を総合して判定する。

■試験日は設けない。

2 試験科目

(1) 専門科目(一般入試、外国人留学生入試A方式の場合)

- ① 科目と出題範囲は、次の表に示すとおりである。出願時に1科目を登録する。
- ② 各科目には3問から6問の設問が出題されているので、その中から1問を選んで解答する。

科 目	出 題 範 囲
言語学	音声学、音韻論、形態論、統語論、意味論、言語学史を中心に出题する。
英語学	統語論、意味論、音声学、社会言語学、言語理論(生成文法)から出题する。
日本語学	日本語学史、日本語史、文法論、文章論、談話分析を中心に出题する。
心理学	感情心理学、認知心理学を中心に出题する。
情報科学	情報理論、ソフトウェア、ハードウェア、ネットワークを中心に出题する。
西洋哲学	哲学史、倫理学を含む西洋哲学全般の諸概念と諸問題について問う。
日本史	日本の歴史について出题する。
東洋史	東洋の政治史、経済史、社会史を中心に出题する。
西洋史	政治、経済、社会、法、文化等の西洋の歴史について、基礎的な理解を問う。
人類学・アンデス考古学	人類学・アンデス考古学の基本的な概念、諸理論、研究史から出题する。
地域文化論	北東アジア、東南アジア各地域の社会・歴史・文化について出题する。
表象文化論	文化理論、視覚・聴覚・言語による表象文化の理論と実際を問う。
美学・芸術学	西洋美術史、美術史方法論を中心に出题する。
比較文学	比較文学・比較文化の理論、日本文化と海外文化との関係を問う。
日本文学	日本文学研究法、古文・現代文の解釈、日本文学史から出题する。
中国文学	中国文学研究法、中国文学史及び作品の解釈を中心に出题する。
英文学	英文学史、文学批評、文学作品や文化の資料の解釈を中心に出题する。
アメリカ文学	アメリカ文学史、文学批評、文学作品や文化の資料の解釈を中心に出题する。
ドイツ文学	ドイツ文学史、作家と作品、批評理論を中心に出题する。
フランス文学	フランス文学史、作家と作品、批評理論を中心に出题する。
ロシア文学	ロシア文学史、作家と作品、批評理論を中心に出题する。

注 人類学・アンデス考古学の試験について

第1回選抜試験は、ペルー(ナスカ試験場)のみでの実施予定です。なお、第2回選抜試験は、日本(山形試験場)のみでの実施予定です。

(2) **日本語** (外国人留学生入試B方式の場合)

- ① 辞書の持ち込みは許可しない。
- ② 現代日本語の語彙、文法、読解、作文を中心に出题する。

(3) **面接** (一般入試、外国人留学生入試A方式、推薦入試の場合)

最初に、自分の研究テーマに関して、10分程度発表を行う。必要な場合にはA4判2枚以内の資料を使用することができる。その際には5部準備すること。

次に、その発表及び研究計画書(2,000字程度)に基づき、今後の研究について質疑応答を行う。

(4) **口述試験** (社会人入試、外国人留学生入試B方式の場合)

最初に、自分の研究テーマに関して、10分程度発表を行う。必要な場合にはA4判2枚以内の資料を使用することができる。その際には5部準備すること。

次に、その発表及び研究計画書(4,000字程度、英語あるいはスペイン語での出願が認められた場合のみ1,000語程度)に基づき、志願する研究分野に関する専門的知識及び今後の研究について質疑応答を行う。

(5) **各試験の採点評価基準**は、以下のとおりである。

専門科目：専門分野についての理解の程度を評価する。

日本語：基本的な日本語能力を有するかどうかを評価する。

面接：志願する研究分野での今後の研究計画について評価する。

口述試験(社会人入試)：志願する研究分野に関する専門的知識及び今後の研究計画について評価する。

口述試験(外国人留学生入試B方式)：基本的な日本語運用能力、志願する研究分野に関する専門的知識及び今後の研究計画について評価する。

B 社会システム専攻

1 選抜方法及び試験日時

(1) 一般入試

■試験科目

専門科目（筆記試験）：1科目（「2 試験科目」の分類にしたがって、入学後専攻しようとする教育研究領域の専門科目1科目を選択する。）

面接

■試験日時

第1回選抜試験		第2回選抜試験	
令和元（2019）年9月6日（金）		令和2（2020）年2月8日（土）	
専門科目	10時30分～12時00分	専門科目	10時30分～12時00分
面接	13時30分～	面接	13時30分～

■配点：専門科目（100点）、面接（ABCで評価）

■採点評価基準

専門科目：専門分野についての基本的な理解の度合いを評価する。

面接：志願する研究分野に関する専門知識及び今後の研究計画について評価する。

■合否判定基準：筆記試験（専門科目）、面接、出願書類を総合して判定する。

(2) 社会人入試

■試験科目

口述試験：提出した研究計画書（4,000字程度のもの、英語での出願が認められた場合は1,000語程度のもの）をもとに、志願する研究分野に関する専門的知識及び今後の研究について問う。

■試験日時

第1回選抜試験		第2回選抜試験	
令和元（2019）年9月6日（金）		令和2（2020）年2月8日（土）	
口述試験	13時30分～	口述試験	13時30分～

■配点：口述試験（ABCで評価）

■採点評価基準

専門分野についての基本的な理解の度合いと、志願する研究分野に関する専門知識及び今後の研究計画について評価する。

■合否判定基準：口述試験、出願書類を総合して判定する。

(3) 外国人留学生入試

(A方式)：II出願資格の3の(1), (7), (9)に該当する者(3頁参照)

■試験科目

専門科目(筆記試験)：1科目(「2 試験科目」の分類にしたがって、入学後専攻しようとする教育研究領域の専門科目1科目を選択する。)

※専門科目の試験は、日本語で出題し、日本語で解答する。

面接

■試験日時

第1回選抜試験		第2回選抜試験	
令和元(2019)年9月6日(金)		令和2(2020)年2月8日(土)	
専門科目	10時30分～12時00分	専門科目	10時30分～12時00分
面接	13時30分～	面接	13時30分～

■配点：専門科目(100点)、面接(ABCで評価)

■採点評価基準

専門科目：専門分野についての基本的な理解の度合いを評価する。

面接：志願する研究分野に関する専門知識及び今後の研究計画について評価する。

■合否判定基準：筆記試験(専門科目)、面接、出願書類を総合して判定する。

(B方式)：II出願資格の3の(2), (3), (4), (5), (6), (8)に該当する者(3頁参照)

■試験科目

口述試験：提出した研究計画書(4,000字程度のもの、英語での出願が認められた場合は、1,000語程度のもの)をもとに、志願する研究分野に関する専門的知識及び今後の研究について問う。

■試験日時

第1回選抜試験		第2回選抜試験	
令和元(2019)年9月6日(金)		令和2(2020)年2月8日(土)	
口述試験	13時30分～	口述試験	13時30分～

■配点：口述試験(ABCで評価)

■採点評価基準

口述試験：基礎的な日本語運用能力及び専門分野についての基本的な理解の度合いと、志願する研究分野に関する専門知識及び今後の研究計画について評価する。

■合否判定基準：口述試験、出願書類を総合して判定する。

(4) 推薦入試

■試験：面接

■試験日時

第1回推薦入試		第2回推薦入試			
令和元(2019)年9月5日(木)		令和2(2020)年2月8日(土)			
面	接	9時00分～	面	接	9時00分～

■配点：面接(ABCで評価)

■合否判定基準：面接，志望理由書，研究計画書，推薦書等の出願書類を総合して判定する。

(5) 協定校(外国人留学生)推薦入試

■選抜方法：入学者の選抜は，提出された書類により行う。(渡日前入試)

■配点：日本語能力試験，書類審査(研究計画書，その他)：ABCで評価

■合否判定基準：日本語能力認定書(N1)，志望理由書，研究計画書，推薦書等の出願書類を総合して判定する。

■試験日は設けない。

2 試験科目

(1) 試験科目は，次の表のとおりである。

(2) 専門科目についての注意。

- ① 専門科目については，志願者は出願時に次の表の分類にしたがって，入学後専攻しようとする教育研究領域の専門科目1科目を登録する。
- ② 出願後の変更は認めない。

教育研究分野	教育研究領域	専門科目
公共システム	公共政策	憲法，行政法，刑法，刑事訴訟法，法哲学，ミクロ経済学，経済情報科学，公共政策学，マクロ経済学，財政学，経済学史，経済政策
	地域政策	環境地理学，都市計画，計量社会学，環境経済学，家族社会学
企業システム	企業経営	会計学，計量経済学，ゲーム理論，経営学，情報・システム論，経済原論，中小企業論，マーケティング
	経営法務	民法(財産法)，労働法，経済法，商法
国際システム	国際関係	国際政治，現代中国政治，国際法
	国際経済法務	国際取引法，金融論

注 専門科目のうち，法律科目については市販のポケットサイズ六法を貸与する。

VI 試験場

山形試験場：山形大学人文社会科学部（山形市小白川町一丁目4番12号）

ナスカ試験場：山形大学ナスカ研究所（ペルー共和国ナスカ市）

※ナスカ試験場は文化システム専攻の第1回社会人入試のみ（9月5日（木）8時【日本時間】実施）で使用します。また、インターネットを用いたテレビ会議方式で試験を行うことがあります。

VII 合格者発表

試験区分	合格者発表予定時刻
第1回選抜試験	令和元（2019）年9月13日（金）11時
第1回推薦入試	
第1回協定校（外国人留学生）推薦入試	
第2回選抜試験	令和2（2020）年2月14日（金）11時
第2回推薦入試	
第2回協定校（外国人留学生）推薦入試	

本人宛てに合格通知書を送付する。

また、社会文化システム研究科ホームページ（<https://www-hs.yamagata-u.ac.jp/>）内に合格者の受験番号を掲載する。電話等による合否の問合せには一切応じない。

VIII 入学手続

(1) 入学手続期間（予定）

試験区分	入学手続期間
第1回選抜試験	令和2（2020）年1月14日（火）～1月15日（水）
第1回推薦入試	
第1回協定校（外国人留学生）推薦入試	
第2回選抜試験	令和2（2020）年2月27日（木）～2月28日（金）
第2回推薦入試	
第2回協定校（外国人留学生）推薦入試	令和2（2020）年3月5日（木）～3月6日（金）

詳細は、合格通知の際に連絡する。

(2) 提出書類

入学誓書、写真等

(3) 入学料

入学料 282,000円

入学手続の際に、上記の入学料を納付する。

IX 授業料

入学後に納付する。

授業料 年額 535,800円（予定額）

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」及び「年10回ボーナス併用払い」から選択できる。

(注) 1 上記金額は、未確定のため予定額である。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用される。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際に通知する。

X 諸経費

人文社会科学部後援会費 10,000円

山形大学校友会会費 10,000円

学生教育研究災害傷害保険 2,430円

詳細は、合格通知の際に別途通知する。

XI 入学後の住居について

学生寮（清明寮（男子・女子）、北辰寮（男子）、紫苑寮（女子））の申込受付
学生・キャリア支援課 寮務担当 ☎（023）628-4135

XII 大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例措置について

本研究科では、社会人の受入れに当たり、教育・研究上特に必要と認められる場合、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例を適用し、次の方法で履修することができる。なお、特例措置を希望する場合は、出願の前に、あらかじめ本研究科（入試課人文社会科学部担当☎（023）628-4207）に問合せること。

- ① 通常的时间帯（8時50分～17時50分）以外に、特例措置の時間帯（18時00分～21時10分）を設定する。
- ② 必要に応じて土曜日あるいは夏季・冬季休業期間も履修できるものとする。
- ③ 特例の時間帯による履修を希望する者は、当該年度当初に、研究指導教員の承認の上、適用希望授業科目名、時限、期限等を出願し、授業担当教員の許可を得るものとする。

XIII 長期履修学生制度について

学生が職業を有しているなどの事情により、標準修業年限（2年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することができる長期履修学生制度がある。ただし、長期履修の期間は4年を超えることができない。

この制度を利用する場合、授業料は、標準年限分の授業料総額を計画的に履修することを認められた期間の年数で分割して納めることができる。

なお、長期履修期間の年限等この制度の詳細については、本研究科（教務課人文社会科学部担当☎（023）628-4709）に照会すること。

XIV 試験成績の開示

試験成績開示を希望する者には、令和2年5月1日から5月31日（土・日曜日、祝日を除く。）まで個人成績を開示するので、事前に山形大学小白川キャンパス事務部入試課人文社会科学部担当（☎（023）628-4207）に問合せること。

XV その他

- (1) 本学は、入学試験に関する個人情報を次の目的のために利用する。なお、この目的以外に当該情報を第三者に開示、提供及び預託することはない。
 - ① 入学者選抜試験実施のため
 - ② 入学手続業務のため
 - ③ 入試統計調査のため
 - ④ 就学上必要な本学での業務のため
 - ⑤ その他大学として必要な業務のため
- (2) 出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合には、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがある。

○授業科目について（令和2年度授業担当予定者授業科目一覧）

I 文化システム専攻

専攻	教育研究分野	教育研究領域	開設授業科目	単位数	授業担当者
文化システム専攻	人間科学	言語	(特論)		
			英語学特論Ⅰ,Ⅱ	各2	教授 富澤 直人
			音韻論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
			英語語法論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 鈴木 亨
			英語音声学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 富田かおる
			英語語彙論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
			社会言語学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
			生成文法論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	准教授 高橋 真彦
			日本語意味論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 渡辺 文生
			日本語史特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 中澤 信幸
			言語学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 池田 光則
			歴史言語学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 アーウィン・マーク
			異文化間コミュニケーション論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 ライアン・スティーブン
			心理言語学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	准教授 小泉有紀子
			(特別演習)		
		英語学特別演習	2	教授 富澤 直人	
		音韻論特別演習	2		
		英語語法論特別演習	2	教授 鈴木 亨	
		英語音声学特別演習	2	教授 富田かおる	
		英語語彙論特別演習	2		
		社会言語学特別演習	2		
		生成文法論特別演習	2	准教授 高橋 真彦	
		日本語意味論特別演習	2	教授 渡辺 文生	
		日本語史特別演習	2	教授 中澤 信幸	
		言語学特別演習	2	教授 池田 光則	
		歴史言語学特別演習	2	教授 アーウィン・マーク	
		異文化間コミュニケーション論特別演習	2	教授 ライアン・スティーブン	
心理言語学特別演習	2	准教授 小泉有紀子			
(特別研究)					
言語科学特別研究Ⅰ	4				
言語科学特別研究Ⅱ	4				
心理・情報		心理	(特論)		
			実験心理学特論Ⅰ,Ⅱ	各2	准教授 大杉 尚之
			実験心理学特論Ⅲ,Ⅳ	〃2	准教授 小林 正法
			対人行動論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	准教授 佐藤 香 ☆(令和3年3月退職予定)
			社会心理学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
			人間情報科学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 本多 薫
			(特別演習)		
			実験心理学特別演習Ⅰ	2	准教授 大杉 尚之
			実験心理学特別演習Ⅱ	2	准教授 小林 正法
			対人行動論特別演習	2	准教授 佐藤 香 ☆(令和3年3月退職予定)
			社会心理学特別演習	2	
			人間情報科学特別演習	2	教授 本多 薫
(特別研究)					
心理・情報特別研究Ⅰ	4				
心理・情報特別研究Ⅱ	4				

専攻	教育研究分野	教育研究領域	開設授業科目	単位数	授業担当者	
文 化 シ ス テ ム 専 攻	思想 史 論	思想 文化	(特論) ヨーロッパ近世近代思想文化論特論Ⅰ,Ⅱ	各2	教授 清塚 邦彦	
			ヨーロッパ現代思想文化論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2		
			英米哲学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2		
			(特別演習) ヨーロッパ近世近代思想文化論特別演習	2		教授 清塚 邦彦
			ヨーロッパ現代思想文化論特別演習	2		
			英米哲学特別演習	2		
			(特別研究) 思想文化特別研究Ⅰ	4		
			思想文化特別研究Ⅱ	4		
		歴史 文 化	歴史 文 化	(特論) 日本古代史特論Ⅰ,Ⅱ	各2	教授 岩田浩太郎 准教授 小幡 圭祐
				日本中世史特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
				日本近世史特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
				日本近代史特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
				東アジア古代史特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 新宮 学 ☆(令和3年3月退職予定)
				東アジア近世史特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
				北アジア史特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	准教授 中村 篤志
				グローバル経済史特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	講師 諸田 博昭
				イギリス経済史特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 山崎 彰
				イギリス法制史特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
				ドイツ史特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
				ロシア・東欧史特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
				人類学・アンデス考古学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 坂井 正人
				人類学・アンデス考古学特論Ⅲ,Ⅳ	〃2	准教授 松本 雄一
				人類学・アンデス考古学特論Ⅴ,Ⅵ	〃2	准教授 山本 睦
				人類学・アンデス考古学特論Ⅶ,Ⅷ	〃2	准教授 松本 剛
				(特別演習) 日本古代史特別演習	2	教授 岩田浩太郎 准教授 小幡 圭祐
				日本中世史特別演習	2	
日本近世史特別演習	2					
日本近代史特別演習	2					
東アジア古代史特別演習	2	教授 新宮 学 ☆(令和3年3月退職予定)				
東アジア近世史特別演習	2					
北アジア史特別演習	2	准教授 中村 篤志				
グローバル経済史特別演習	2	講師 諸田 博昭				
イギリス経済史特別演習	2	教授 山崎 彰				
イギリス法制史特別演習	2					
ドイツ史特別演習	2					
ロシア・東欧史特別演習	2					
人類学・アンデス考古学特別演習Ⅰ	2	教授 坂井 正人				
人類学・アンデス考古学特別演習Ⅱ	2	准教授 松本 雄一				
人類学・アンデス考古学特別演習Ⅲ	2	准教授 山本 睦				
人類学・アンデス考古学特別演習Ⅳ	2	准教授 松本 剛				
(特別研究) 歴史文化特別研究Ⅰ	4	歴史文化特別研究Ⅰ 歴史文化特別研究Ⅱ				
歴史文化特別研究Ⅱ	4					

専攻	教育研究分野	教育研究領域	開設授業科目	単位数	授業担当者
文化システム専攻	国際文化論	欧米文化	英米中世近世文化論特別演習	2	教授 佐藤 清人 准教授 宇津まり子 准教授 摂津 隆信 准教授 渡辺 将尚 准教授 合田 陽祐 教授 相澤 直樹 教授 中村 隆
			英米近世文化論特別演習	2	
英米近代文化論特別演習	2				
英米現代文化論特別演習	2				
ドイツ文化論特別演習	2				
ドイツ現代文化論特別演習	2				
ドイツ近代文化論特別演習	2				
ドイツ中世近世文化論特別演習	2				
ドイツ近世文化論特別演習	2				
フランス文化論特別演習	2				
フランス現代文化論特別演習	2				
フランス近世文化論特別演習	2				
ロシア文化論特別演習	2				
ロシア東欧文学特別演習	2				
イギリス近現代文化論特別演習	2				
(特別研究)					
欧米文化特別研究Ⅰ	4				
欧米文化特別研究Ⅱ	4				
共通	共通	共通	情報処理実習	2	東北工業科大学 古藤 浩
			現代外国語(英語)Ⅰ	2	教授 ライオン・ステイバン (未定)
			現代外国語(英語)Ⅱ	4	(未定)
			現代外国語(ドイツ語)	2	准教授 渡辺 将尚
			現代外国語(フランス語)	2	准教授 大久保清朗
			現代外国語(ロシア語)	2	教授 相澤 直樹
			現代外国語(中国語)	2	教授 福山 泰男
			プロジェクト演習Ⅲ	2	教授 坂井 正人 准教授 松本 雄一 准教授 山本 睦 准教授 松本 剛 教授 坂井 正人 准教授 松本 雄一 准教授 山本 睦 准教授 松本 剛
			プロジェクト演習Ⅳ	2	
			プロジェクト演習Ⅴ	2	
			プロジェクト演習Ⅵ	2	
大学院共通科目	大学院共通科目	大学院共通科目	キャリア・マネジメント	共通実施	共通実施 社会文化システム研究科で開講 地域教育研究科で開講 理工学研究科(理学系)で開講 理工学研究科(工学系)で開講 有機材料システム研究科で開講 医学系研究科で開講 農学研究科で開講
			研究者としての基礎スキル	共通実施	
			社会文化システム特論	社会文化システム研究科で開講	
			生涯学習特論	地域教育研究科で開講	
			知財と倫理	理工学研究科(理学系)で開講	
			Academic Skills:Scientific Presentations + Writing	理工学研究科(工学系)で開講	
			Career Designing Seminar	有機材料システム研究科で開講	
			先端医科学特論	医学系研究科で開講	
			食の未来を考える	農学研究科で開講	

Ⅱ 社会システム専攻

専攻	教育研究分野	教育研究領域	開設授業科目	単位数	授業担当者
社会システム専攻	公共システム	公共	(特論)		
			現代社会システム論特論	2	
			人権論特論Ⅰ,Ⅱ	各2	教授 中島 宏
			行政法特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	准教授 和泉田保一
			刑法特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	准教授 西岡 正樹
			刑事訴訟法特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 高倉 新喜
			刑事法特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
			地域経済論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
			地域産業連関論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
			地方財政論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
			公共経済学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 是川 晴彦
			財政学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	准教授 坂本 直樹
			統治組織論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 今野 健一
			社会経済システム論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	准教授 田北 俊昭
			イギリス経済学史特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 下平 裕之
			行政学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
			社会政策特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
			マクロ経済学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	准教授 溜川 健一
			家族法特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	
			公共政策学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	准教授 川村 一義
			経済政策論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	講師 村松 怜
			法哲学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	准教授 池田 弘乃
			(特別演習)		
			人権論特別演習	2	教授 中島 宏
			行政法特別演習	2	准教授 和泉田保一
			刑法特別演習	2	准教授 西岡 正樹
			刑事訴訟法特別演習	2	教授 高倉 新喜
			刑事法特別演習	2	
			地域経済論特別演習	2	
			地域産業連関論特別演習	2	
地方財政論特別演習	2				
公共経済学特別演習	2	教授 是川 晴彦			
財政学特別演習	2	准教授 坂本 直樹			
統治組織論特別演習	2	教授 今野 健一			
社会経済システム論特別演習	2	准教授 田北 俊昭			
イギリス経済学史特別演習	2	教授 下平 裕之			
行政学特別演習	2				
社会政策特別演習	2				
マクロ経済学特別演習	2	准教授 溜川 健一			

専攻	教育研究分野	教育研究領域	開設授業科目	単位数	授業担当者
社会システム専攻	公共システム	公共政策	家族法特別演習	2	准教授 川村 一義 講師 村松 怜 准教授 池田 弘乃
			公共政策学特別演習	2	
経済政策論特別演習	2				
法哲学特別演習	2				
(特別研究)					
公共政策特別研究Ⅰ	4				
公共政策特別研究Ⅱ	4				
(特論)					
地域社会論特論Ⅰ,Ⅱ	各2	教授 阿部 晃士			
計量社会学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2				
家族社会学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	講師 竹内 麻貴			
環境地理学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2				
都市計画特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	准教授 伊藤 晶文			
地域政策学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2				
環境経済学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 山田 浩久			
(特別演習)					
地域社会論特別演習	2	教授 阿部 晃士			
計量社会学特別演習	2				
家族社会学特別演習	2	講師 竹内 麻貴			
環境地理学特別演習	2				
都市計画特別演習	2	准教授 伊藤 晶文			
地域政策学特別演習	2				
環境経済学特別演習	2	教授 山田 浩久			
(特別研究)					
地域政策特別研究Ⅰ	4	准教授 杉野 誠			
地域政策特別研究Ⅱ	4				
企業システム専攻	企業経営システム	企業経営	(特論)		
			企業経営論特論Ⅰ,Ⅱ	各2	講師 柴田 聡
比較会計学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 洪 慈乙			
経営情報特論Ⅰ,Ⅱ	〃2				
日本産業構造分析特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 安田 均			
株式会社論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2				
計量経済学特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 砂田 洋志			
ゲーム理論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2				
経営システム特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	教授 鈴木 明宏			
マーケティング論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2				
管理会計特論Ⅰ,Ⅱ	〃2	准教授 西平 直史			
中小企業論特論Ⅰ,Ⅱ	〃2				
(特別演習)					
企業経営論特別演習	2	講師 柴田 聡			
比較会計学特別演習	2				
経営情報特別演習	2	教授 洪 慈乙			
日本産業構造分析特別演習	2				
株式会社論特別演習	2	教授 安田 均			

専攻	教育研究分野	教育研究領域	開設授業科目	単位数	授業担当者	
社会システム専攻	企業システム	企業経営	計量経済学特別演習	2	教授 砂田 洋志	
			ゲーム理論特別演習	2	教授 鈴木 明宏	
			経営システム特別演習	2	准教授 西平 直史	
			マーケティング論特別演習	2	准教授 兼子 良久	
			管理会計特別演習	2	准教授 尻無濱芳崇	
			中小企業論特別演習	2	准教授 吉原 元子	
		(特別研究)				
		企業経営特別研究Ⅰ	4			
		企業経営特別研究Ⅱ	4			
		(特論)				
		民法特論Ⅰ, Ⅱ	各2	教授 高橋 良彰		
		民法特論Ⅲ, Ⅳ	〃2	准教授 小笠原奈菜		
	民事紛争処理法特論Ⅰ, Ⅱ	〃2				
	雇用関係法特論Ⅰ, Ⅱ	〃2	准教授 阿部 未央			
	競争政策法特論Ⅰ, Ⅱ	〃2				
	商法特論Ⅰ, Ⅱ	〃2	教授 コーエンズ久美子			
	(特別演習)					
	民法特別演習Ⅰ	2	教授 高橋 良彰			
	民法特別演習Ⅱ	2	准教授 小笠原奈菜			
	民事紛争処理法特別演習	2				
	雇用関係法特別演習	2	准教授 阿部 未央			
	競争政策法特別演習	2				
	商法特別演習	2	教授 コーエンズ久美子			
	(特別研究)					
経営法務特別研究Ⅰ	4					
経営法務特別研究Ⅱ	4					
国際システム	国際関係	(特論)				
		国際関係論特論Ⅰ, Ⅱ	各2			
		国際政治特論Ⅰ, Ⅱ	〃2	教授 松本 邦彦		
		グローバル・ガバナンス論特論Ⅰ, Ⅱ	〃2	准教授 中村 文子		
		国際組織法特論Ⅰ, Ⅱ	〃2	准教授 丸山 政己		
		現代政治論特論Ⅰ, Ⅱ	〃2			
		比較政治学特論Ⅰ, Ⅱ	〃2			
		現代中国政治特論Ⅰ, Ⅱ	〃2	准教授 赤倉 泉		
		(特別演習)				
		国際関係論特別演習	2			
		国際政治特別演習	2	教授 松本 邦彦		
		グローバル・ガバナンス論特別演習	2	准教授 中村 文子		
国際組織法特別演習	2	准教授 丸山 政己				
現代政治論特別演習	2					
比較政治学特別演習	2					

専攻	教育研究分野	教育研究領域	開設授業科目	単位数	授業担当者		
社会システム専攻	国際システム	国際関係	現代中国政治特別演習 (特別研究)	2	准教授 赤倉 泉		
			国際関係特別研究 I	4			
			国際関係特別研究 II	4			
		国際経済法務	(特論)	世界経済論特論 I, II	各 2	教授 荒井 太郎	
				EU経済論特論 I, II	〃 2		
				北米経済論特論	2		
				国際取引法特論 I, II	各 2		
				国際経営特論 I, II	〃 2		
				国際金融論特論 I, II	〃 2		
				国際経済論特論 I, II	〃 2		
	(特別演習)			世界経済論特別演習	2		教授 荒井 太郎
				EU経済論特別演習	2		
				北米経済論特別演習	2		
			国際取引法特別演習	2			
			国際経営特別演習	2			
			国際金融論特別演習	2			
			国際経済論特別演習	2			
	(特別研究)		国際経済法務特別研究 I	4	教授 山口 昌樹		
			国際経済法務特別研究 II	4			
共通	共通	情報処理実習	2	東北芸術工科大学 古藤 浩			
		現代外国語 (英語) I	2	教授 ライアン・スティーブン			
		現代外国語 (英語) II	4	(未定) (未定)			
		現代外国語 (ドイツ語)	2	准教授 渡辺 将尚			
		現代外国語 (フランス語)	2	准教授 大久保清朗			
		現代外国語 (ロシア語)	2	教授 相澤 直樹			
		現代外国語 (中国語)	2	教授 福山 泰男			
		調査の方法	2	講師 竹内 麻貴			
		プロジェクト演習 I	2	社会システム専攻教員			
		プロジェクト演習 II	2	社会システム専攻教員			
大学院共通科目	大学院共通科目	キャリア・マネジメント	共通実施				
		研究者としての基礎スキル	共通実施				
		社会文化システム特論	社会文化システム研究科で開講				
		生涯学習特論	地域教育研究科で開講				
		知財と倫理	理工学研究科 (理学系) で開講				
		Academic Skills: Scientific Presentations + Writing	理工学研究科 (工学系) で開講				
		Career Designing Seminar	有機材料システム研究科で開講				
		先端医科学特論	医学系研究科で開講				
		食の未来を考える	農学研究科で開講				

○アドミッション・ポリシーについて

社会文化システム研究科

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

社会文化システム研究科は、広範な基礎学力と高度な専門性に基づいて社会と文化を一つのシステムとして総合的に把握し、文化現象や社会現象の今日的課題に積極的に取り組み、分析し、解決できる能力を持った人材を育成するため、様々な視点や広い視野を獲得して課題解決に積極的に応えていく意欲のある人を、国内外から広く受け入れます。

また、社会文化システム研究科の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- 様々な社会・文化現象を一つの総合的なシステムのうちに位置づけ、それらの関連性を理解し、現実的に問題を解決したいという意欲と能力を有している人
- 今日の地域社会や国際社会の抱える政策諸課題に対し、積極的に取り組み解決しようとする意欲と能力を有している人

以上のような観点から各専攻では、次のような学生を求めています。

修士課程

（文化システム専攻）

文化システム専攻では、人間の認知行動や世界の多様な文化現象を総合的なシステムとして研究することを目的としています。

また、文化システム専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- 言語学、心理学、歴史学、人類学・アンデス考古学、哲学、文学など、人文科学の専門分野に関する基礎学力を有している人
- 人間の思考・行動過程のメカニズムや世界の多様な文化現象に対して、旺盛な探究心を持つ人
- 自分が身につけた専門的知識を、現代社会の文化的諸課題の解決に役立てたいと考えている人

（社会システム専攻）

社会システム専攻では、自治体と企業及び国際社会という3つの社会システムに焦点を当て、政策諸課題を研究することを目的としています。

また、社会システム専攻の求める学生像は以下のとおりです。

◆求める学生像

- 法学、政治学、経済学、経営学、社会学、地理学など、社会科学の専門分野に関する基礎学力を有している人
- 今日の多様な社会現象に対して、旺盛な探究心を持つ人
- 自分が身につけた専門的知識を、地域社会や国際社会の抱える諸課題の解決に役立てたいと考えている人

令和2（2020）年度

山形大学大学院

社会文化システム研究科(修士課程)

Yamagata University Graduate School of Social and Cultural Systems
Master's Degree Program

○文化システム専攻 Cultural Systems

○社会システム専攻 Social Systems

学生募集に関する所定用紙一式

Application Forms for Eligibility Confirmation and Entrance Examination

I 入学資格審査手続関係	Eligibility Confirmation
1 入学資格審査願書	Application Form for Eligibility Confirmation
2 入学資格認定審査調書	Statement of Educational Background and Business Experience
3 研究・業績調書	Statement of Research Plan and Achievements
4 指導教員の所見	Supervisor's Reference Letter
II 出願手続関係	Entrance Examination Documents for Submission
1 入学願書, 履歴書	Application Form, Personal History
2 受験票, 写真票	Examination ID Card, Photo Card
3 推薦書(推薦, 協定校推薦)	Recommendation Letter (Exams by Recommendation and by Recommendation from Overseas Partner Universities)
4 志望理由書(推薦, 協定校推薦)	Reasons for Application (Exams by Recommendation and by Recommendation from Overseas Partner Universities)
5 受験承諾書(大学院在学者)	Exam Permit (Applicants currently enrolled in Graduate School)
6 受験承諾書(社会人入試)	Exam Permit (Mature Students Exam)
7 研究計画書	Research Plan
8 ラベル票	Mailing Labels

(入学資格審査に関する照会用)

入学資格審査願書

Application Form for Eligibility Confirmation

令和2年度山形大学大学院社会文化システム研究科選抜試験に出願資格（1(9), 1(10), 1(11), 1(12), 2(8), 3(8), 3(9)・・・該当事項に○印）により出願したいので、同資格審査の申請を行います。

I hereby submit this Eligibility Confirmation prerequisite to apply for the entrance examination to the Graduate School of Social and Cultural Systems, with the required qualification of *(1(9), 1(10), 1(11), 1(12), 2(8), 3(8), 3(9)). (*Circle one.)

令和 年 月 日

Date (YYYY/MM/DD)

氏 名

Applicant's name (Family) (First) (Middle)

印

Seal (if available)

住所・電話番号

Address/Phone

{〒

TEL

}

志願専攻，教育研究分野・領域名

Names of Department, Section & Field of study/research to be applied to

{

}

卒業（修了）学校等名（学科・科等も記入すること。）

Names of undergraduate university (or graduate school) and department attended

{

}

卒業（修了）年月日

Date (YYYY/MM/DD) of graduation (completion)

{

年

月

日卒業（修了）}

現職（所属機関・会社名，部署，職名等）

Current occupation (Names of institution/company, department and title)

{

TEL

}

研 究 ・ 業 績 調 書

Statement of Research Plan and Achievements

山形大学大学院社会文化システム研究科

氏 名 Name	(Family) (First) (Middle)	志 願 専 攻 Department to be applied to	
		志 願 教 育 研 究 分 野 Section of study/research	
		志 願 教 育 研 究 領 域 Field of study/research	

1 本研究科における研究題目及び研究計画（400字程度）

Describe the topic and plan of the research you wish to pursue in the Graduate School of Social and Cultural Systems in about 400 Japanese characters. (For the Exam, English or Spanish is permitted in some areas of study, in which case the length is about 100 words.)

2 これまでの職業上の活動又は学習の内容

Describe business activities and/or learning/research activities in which you have been engaged.

3 その他（高度な専門資格，知識，技能認定等）

Other remarks (special qualifications and/or knowledge, certified skills, etc.)

注1 志願専攻・教育研究分野・教育研究領域の記載については本募集要項中の「授業科目について」（17頁以下）の各欄を参照のこと。

Note 1: For the Sections & Fields of study/research provided by each Department, refer to the Subjects Offered on p. 17 et seq.

注2 学術論文，研究発表，調査報告等がある場合は添付すること。

Note 2: Attach academic documents, if any, such as papers, presentation handouts, and survey reports.

注3 3に係る証明書のコピーを添付すること。

Note 3: Attach copies of certificates, if any, of the qualifications described in Part 3.

指導教員の所見 Supervisor's Reference Letter

志願者氏名 Applicant's Name

(Family) (First) (Middle)

Date (YYYY/MM/DD) 年 月 日

指導教員氏名 Supervisor's Name	④ Seal (if available)
所 属 Affiliation	
連絡先 (電話・Eメール) Phone/e-mail	

上記の志願者について、主に研究指導にあられた期間の研究内容と日本語コミュニケーション能力について所見をご記入ください。

Please describe the applicant's research activities under your supervision and communication skills in Japanese.

--

令和 2 (2020) 年度 山形大学大学院社会文化システム研究科 入学願書

Application Form for Admission to the Graduate School of Social and Cultural Systems

※文化システム専攻・社会システム専攻

Cultural Systems

Social Systems

※選抜

第 1 回選抜試験, 第 2 回選抜試験,

第 1 回推薦入試, 第 2 回推薦入試,

第 1 回協定校 (外国人留学生) 推薦入試, 第 2 回協定校 (外国人留学生) 推薦入試

※選考方法 (第 1 回選抜試験, 第 2 回選抜試験のみ)

一般入試, 社会人入試, 外国人留学生入試 (A 方式, B 方式)

※ Exam Types

1st Selective Exam; 2nd Selective Exam

1st Exam by Recommendation; 2nd Exam by Recommendation

1st Exam by Recommendation from Overseas Partner Universities ,

2nd Exam by Recommendation from Overseas Partner Universities

※Exam Subtypes(in 1st 2nd Selective Exams)

General Exam, Mature Students Exam, International Students Exam(Methods A and B)

受験番号

Applicant's ID Number

志願教育研究分野・領域 Section & Field of study/research to be applied to		分野 Section		領域 Field	写真はり付け欄 (縦 4 cm X 横 3 cm) Photo (4cmx3cm) ①出願前 3 か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きのもの。 ②写真の裏面に氏名を記入し、はり付けすること。
フリガナ Katakana				※性別 Gender	
氏名 Name	(Family)	(First)	(Middle)	男・女 (M/F)	
生年月日 Date of birth (YYYY/MM/DD)	昭和 平成	年	月	日	国籍(外国人志願者のみ) Nationality (international applicant)
受験科目 Subject of examination	専 門 科 目 (一般入試, 外国人留学生入試 (A 方式)) Major Subject (in Exam subtypes of the General Exam and International Students Exam (Method A)) を 選 択 し た 場 合 の み 記 入 。				
※ 最終学歴 School last attended	国立 公立 私立	大学 University	学部 Faculty	研究科 Graduate School	昭和 平成 令和 Date(YYYY/MM/DD) 卒業(見込み)・修了・学位授与 (Expected)Graduation, Completion, Degree Granted
現住所 Present address	〒		—		電話 () — Phone
通知等の 受信場所 Mailing address for Notification of admission	〒		—		電話 () — Phone

- (記入上の注意)
- 1 教育研究分野と教育研究領域の記入に当たっては、本募集要項中の「授業科目について」(17頁以下)の当該項目を参照すること。
 - 2 記入に当たっては、ボールペンを使用し、もれなく記入すること。
 - 3 受験番号欄は、記入しないこと。
 - 4 ※欄は、該当事項を○で囲むこと。

Notes

1.For the Sections & Fields of study /research, provided by each Department, refer to the Subjects Offered on p.17 et seqq.

2.Fill in all relevant fields with a ballpoint pen.

3.Do not fill in the Applicant's ID Number field.

4.In the fields marked ※, circle the appropriate items.

履 歴 書 Personal History

受験番号
Applicant's ID Number

学歴は小学校入学時から記入すること。外国人志願者は初等教育から記入すること。

Start from the entrance to elementary school

期 間 Period (from entrance till graduation / completion)		年 数 Total length (in yrs)	事 項 Name of school / institution/company
学 歴 Educational background	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
	年 月 入学 年 月 卒業		
職 歴 Business experience	年 月 から 年 月 まで		
	年 月 から 年 月 まで		
	年 月 から 年 月 まで		

受験番号欄は、記入しないこと。Do not fill in the Applicant's ID Number field.

受 験 票 Examination ID Card

※欄は、該当事項にチェックすること。In the fields marked ※, tick the applicable category.

受験番号欄は、記入しないこと。Do not fill in the Applicant's ID Number field.

※専攻 ※Department	<input type="checkbox"/> 文化システム <input type="checkbox"/> 社会システム Cultural Systems ; Social Systems
※選抜 ※Exam Types	<input type="checkbox"/> 第1回選抜試験 <input type="checkbox"/> 第2回選抜試験 1st Selective Exam ; 2nd Selective Exam <input type="checkbox"/> 第1回推薦入試 <input type="checkbox"/> 第2回推薦入試 1st Exam by Recommendation ; 2nd Exam by Recommendation <input type="checkbox"/> 第1回協定校（外国人留学生）推薦入試 1st Exam by Recommendation from Overseas Partner Universities <input type="checkbox"/> 第2回協定校（外国人留学生）推薦入試 2nd Exam by Recommendation from Overseas Partner Universities
※選抜方法 ※Exam Subtypes	(第1回選抜試験, 第2回選抜試験のみ) (in 1st and 2nd Selective Exams) <input type="checkbox"/> 一般入試 General Exam <input type="checkbox"/> 社会人入試 Mature Students Exam <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試（A方式, B方式） International Students Exam (Methods A and B)
受験番号 Applicant's ID Number	
志願教育研究分野 Section of study / research	
志願教育研究領域 Field of study / research	
専門科目 Subject of examination Major Subject	専門科目は、該当選抜方法及び受験方法より記載すること。 The Major Subject field should be filled in for Exam subtypes for the General Exam and International Students Exam (Method A) .
氏 名 Name	(Family) (First) (Middle)

注：1 本票は、試験当日必ず持参してください。

注：2 試験開始時刻15分前までに試験場に到着するようにしてください。

注：3 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。

注：4 試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室を認めません。

注：5 本票を紛失したときは、入試課人文社会科学部担当へ申し出てください。

注：6 本票は入学手続の際に必要なになりますので、入学手続き完了まで大切に保管してください。

写 真 票 Photo Card

※欄は、該当事項にチェックすること。In the fields marked ※, tick the applicable category.

受験番号欄は、記入しないこと。Do not fill in the Applicant's ID Number field.

※専攻 ※Department	<input type="checkbox"/> 文化システム <input type="checkbox"/> 社会システム Cultural Systems ; Social Systems
※選抜 ※Exam Types	<input type="checkbox"/> 第1回選抜試験 <input type="checkbox"/> 第2回選抜試験 1st Selective Exam ; 2nd Selective Exam <input type="checkbox"/> 第1回推薦入試 <input type="checkbox"/> 第2回推薦入試 1st Exam by Recommendation ; 2nd Exam by Recommendation <input type="checkbox"/> 第1回協定校（外国人留学生）推薦入試 1st Exam by Recommendation from Overseas Partner Universities <input type="checkbox"/> 第2回協定校（外国人留学生）推薦入試 2nd Exam by Recommendation from Overseas Partner Universities
※選抜方法 ※Exam Subtypes	（第1回選抜試験，第2回選抜試験のみ） （in 1st and 2nd Selective Exams） <input type="checkbox"/> 一般入試 General Exam <input type="checkbox"/> 社会人入試 Mature Students Exam <input type="checkbox"/> 外国人留学生入試（A方式，B方式） International Students Exam（Methods A and B）
受験番号 Applicant's ID Number	
志願教育研究分野 Section of study / research	
志願教育研究領域 Field of study / research	
氏 名 Name	(Family) (First) (Middle)
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 写真はり付け欄 Attach Photo Here (4cm × 3cm) </div>	

出願後3か月以内に撮影した上半身，無帽，正面向きのものとします。

Must be a photo of your upper body taken in the past 3 months, ensure your head is uncovered and you are facing forward.

写真票に必要事項を記入し，写真をはり付けること。

Fill in the relevant blanks and attach your photo to the designated area of the Photo Card.

(大学院在学者用)

Applicants currently enrolled in graduate school

受験番号 Applicant's ID Number	
-------------------------------	--

(受験番号欄は, 記入しないこと。)

Do not fill in the Applicant's ID Number field.

受験承諾書

Exam Permit

山形大学大学院社会文化システム研究科長 殿

To the Dean of the Graduate School of Social and Cultural Systems

志願者氏名

Applicant's name (Family) (First) (Middle)

上記の者が, 山形大学大学院社会文化システム研究科の入学試験を受験することを承諾
します。

The individual named above has been granted permission for application to the Graduate School of Social and Cultural
Systems.

令和 年 月 日

Date (YYYY/MM/DD)

研究科名

Name of graduate school

職印
Seal

研究科長名

Name of director

(社会人入試用)

Mature Students Exam

受験番号
Applicant's ID Number

(受験番号欄は、記入しないこと。)
Do not fill in the Applicant's ID Number field.

受験承諾書

Exam Permit

山形大学大学院社会文化システム研究科長 殿
To the Dean of the Graduate School of Social and Cultural Systems

志願者氏名

Applicant's name (Family) (First) (Middle)

上記の者が、山形大学大学院社会文化システム研究科の入学試験を受験することを承諾します。

The individual named above has been granted permission for application to the Graduate School of Social and Cultural Systems.

令和 年 月 日

Date (YYYY/MM/DD)

所属機関名

Name of institution/company

職印
Seal

所属機関長名

Name of director

研究計画書

Research Plan

※志願専攻 Department to be applied to	文化システム・社会システム Cultural Systems Social Systems	受験番号 Applicant's ID Number	
※選抜方法 Exam types/subtypes	一般入試, 社会人入試, 外国人留学生入試 (A方式・B方式), 推薦入試, 協定校 (外国人留学生) 推薦入試 General Exam, Mature Students Exam, International Students Exam (Methods A, B), Exam by Recommendation, Exam by Recommendation from Overseas Partner Universities		
志願教育研究分野・領域 Section & Field of study/research		分野 Section	領域 Field
フリガナ katakana		研究テーマ Research topic	
氏名 Name	(Family) (First) (Middle)		
指導を希望する教員名 (注1) Prospective supervisor(s)		第1希望	
		第2希望 (注2)	

研究計画書の作成要領について

- 1 修士学位論文として、その成果をまとめようと考えている具体的な研究計画を提出すること。研究テーマ、目的、方法、現在までの準備状況と予期される成果等を記すこと。入学後に指導を希望する教員には事前に相談し、その氏名を必ず記載すること (1~2名)。教員が担当する科目の内容については、17頁の「令和2年度授業担当予定者授業科目一覧」及び社会文化システム研究科ホームページ (<https://www-hs.yamagata-u.ac.jp/>) に掲載の「シラバス」を参照すること。
- 2 文字数
一般入試・外国人留学生入試A方式・推薦入試・協定校 (外国人留学生) 推薦入試……2,000字程度 (日本語による。)
社会人入試・外国人留学生入試B方式……4,000字程度 (日本語による。)^(*)
^(*)領域によっては英語あるいはスペイン語での作成が認められる。この場合は1,000語程度。
- 3 ワープロ等で作成した書式 (A4判の白紙1ページに、10.5又は11ポイントの文字を使用し40字×35行の横書きで作成すること。)に、本用紙を表紙として、ホチキスでとめること。
手書きの場合は次々頁の用紙を使用し、本用紙を表紙として、ホチキスでとめること。(用紙が不足する場合は、コピーし、使用すること。)
- 4 ※欄は、該当事項を○で囲むこと。
- 5 受験番号欄は、記入しないこと。
(注1) 記入欄の「指導を希望する教員名」は、17頁から24頁の「令和2年度授業担当予定者授業科目」を確認の上、「授業担当者」から1人選び、「第1希望」の欄に記入してください。
(注2) 第2希望は、☆の付された教員を「第1希望」の欄に記入する場合のみ、必ず当該教員に事前に相談の上、記入してください (☆の付されていない教員を第1希望に記入する場合は、記入しないでください)。

Instructions for Preparing the Research Plan

1. The research plan must contain specific research activities that are expected to lead to the Master's thesis, including the topic, objectives, methods of the research, preparations made so far, and expected outcomes. One or two prospective supervisors must be specified. Please consult with your prospective supervisors about your topic. For further information on the subjects each faculty member teaches, see the "Subjects to be offered for academic year 2020" on p. 17 et seqq or visit the Syllabus section on the Graduate School of Social and Cultural Systems webpage at <https://www-hs.yamagata-u.ac.jp/>.

2. Length

The research plan must be written in Japanese of about 2,000 characters for the following exam types: General Exam, International Students Exam (Method A), Exam by Recommendation, Exam by Recommendation from Overseas Partner Universities.

For the Mature Students Exam and International Students Exam (Method B), the research plan must be written in Japanese of about 4,000 characters.^(*)

^(*)In some areas of study the research plan is permitted to be written in English or Spanish of about 1,000 words.

3. Write using word processing software in the format specified below and staple to this cover sheet. Paper size is A4 (or Letter) with font size in 10.5 or 11 points; a single line consists of 40 Japanese characters and 35 such lines compose a single page.

4. In the fields marked ※, circle the appropriate items.

5. Do not fill in the Applicant's ID Number field.

ラベル票① Mailing Label I

- ◎ 合格通知を受ける郵便番号、住所、氏名（志願者氏名）及び電話番号を記入すること。
- ◎ 出願後住所を変更した場合は、速やかに届け出ること。
- ◎ 受験番号欄は、記入しないこと。

□	□	□	□	□	□	□

						様
電話番号			()			
Phone						
受験番号						
Applicant's ID Number						

This is used to send the Notification of Admission.
Write the applicant's name, mailing address and phone number for the notification.

In case of change of address after application, an immediate notice must be submitted to the Admissions Section.

Do not fill in the Applicant's ID Number field.

ラベル票② Mailing Label II

- ◎ 入学手続関係の書類を送付するために使用するので、郵便番号、住所、氏名（志願者氏名）及び電話番号を記入すること。
- ◎ 出願後住所を変更した場合は、速やかに届け出ること。
- ◎ 受験番号欄は、記入しないこと。

□	□	□	□	□	□	□

						様
電話番号			()			
Phone						
受験番号						
Applicant's ID Number						

This is used to send the Notification of Admission.
Write the applicant's name, mailing address and phone number for the notification.

In case of change of address after application, an immediate notice must be submitted to the Admissions Section.

Do not fill in the Applicant's ID Number field.